

# やさしい街

広報誌

No. 180

ふれあい  
ネットワーク



## さっぽろ市社協



9月13日（月）、福まちウィークにあわせて「平成22年度福まち発地域福祉市民活動フォーラム」を開催しました。基調講演ではルーテル学院大学の和田敏明教授より「住民主体の地域福祉活動の今後の展開について」と題した講演を、活動報告では、西区八軒中央地区の野島紀子さん、清田区北野地区八望台町内会の千葉等さんからそれぞれの地域での取り組みを報告いただき、また「福まち活動写真・広報誌コンクール」の表彰式も開催いたしました。

和田教授からは高齢化が進展する中で、住民が直接、高齢者に声をかけることの大切さや、地域住民が一人暮らし高齢者等の情報を共有して、見守り活動や交流のための拠点づくりが必要であること、また、地域福祉コーディネーターの役割などについて、他都市の状況も踏まえながらお話をいただきました（福まち実践者など437名が参加）。



## CONTENTS

- 2・3 広がれ福祉の輪～地域福祉活動情報～
- 4・5 社協の扉
- 6 ボランティア研修センターからのお知らせ
- 7・8 街頭募金報告・社協を知る④・情報トピックス



本誌は赤い羽根共同募金の配分金で発行されています

# 市民がお互いに支え合う活動の充実に向けて

## (平成21年度の活動状況から見えてくるもの)

本会では、平成7年度から福祉のまち推進センター（福まち）事業を最重点事業と位置づけ、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指しています。

現在、市内には89地区に福祉のまち推進センターが設置され、地域の課題に応じた地域福祉活動を展開しています。

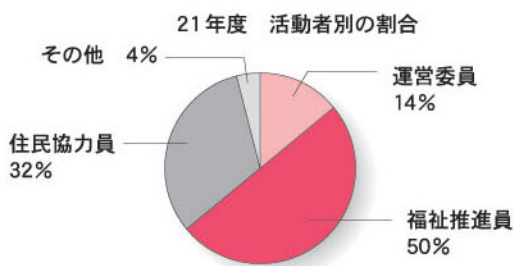
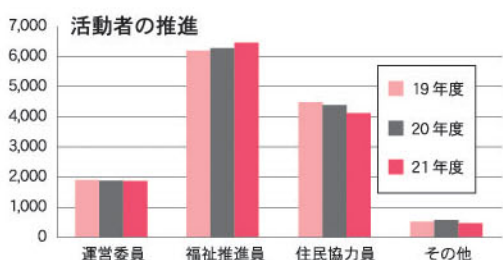
今回は、9月13日開催の福まちフォーラムで報告された活動状況の一部についてご紹介いたします。

### 1 福まちを支える活動者

活動者の内訳

( ) の数字は前年度比

①運営委員（運営委員会未設置は地区社協役員数で計上）	1,850人 (-15)
②福祉推進員	6,449人 (+218)
③住民協力員	4,127人 (-304)
④その他（地域のボランティアグループや福祉除雪協力員など）	462人 (-51)



※運営委員 ～ 地域に身近な関係者で、地域の福祉課題に対して支援活動の内容や方法を検討します。

※福祉推進員 ～ 福祉課題に対して関係者と連携を図りながら支援活動を行います。

※住民協力員 ～ 見守りや安否確認など具体的な支援について福祉推進員とともに活動します。

福まち関係者の努力により、これまで一定の活動者数を確保してきましたが、今後は援助世帯の増加も予測されることから、人材の確保・育成がより求められます。

### 2 福祉推進委員会（福祉の会等）の設置

( ) の数字は前年度比

設置単位	地区数	範囲
① 単位町内会／単位	64地区 (+1)	991単町 (+21の単町増加)
② ブロック／単位	8地区 (0)	38ブロック (0/増減なし)
		ブロックのエリアにある単町数は179カ所、前年度比+1
合計	70地区 (+1)	1,170単町 (+22の単町増加)

単位町内会・ブロックと両方の設置単位が混在する地区が2カ所あるため、合計数は重複を除く数値となっています。

※福祉推進委員会 ～ 援助が必要な方の把握や見守り活動などを行う組織。各単位町内会への設置を目指しています（市内には約2,200カ所の単位町内会があります）。

福祉推進委員会の設置単位町内会数は昨年度より増加しました。小地域をエリアとした各種活動の推進体制が徐々に整備されつつあります。

### 3 援助世帯の状況

#### (1) 福まちが援助世帯として把握している世帯数／市内88地区合計

○ 42,840世帯（前年比+3,633世帯）

#### (2) 援助世帯の内訳

(単位：世帯)

	19年度	20年度	21年度	前年度比
①高齢者／一人暮らしの世帯	25,304	25,507	28,654	3,147
②高齢者／夫婦のみの世帯	11,278	10,205	11,009	804
③障がいのある方の世帯	506	522	647	125
④子育て中の世帯	2,141	2,638	2,342	-296
⑤その他（日中高齢者のみの世帯など）	238	335	188	-147
合計	39,467	39,207	42,840	3,633

新型インフルエンザの影響等で子育てサロンの開催中止が相次ぎ、子育ての援助世帯数が前年度より若干減少しましたが、高齢者（一人暮らし・夫婦世帯）の援助世帯数は増加しています。

### (3) 援助世帯への日常生活支援でのかかわり

(単位：世帯)

	19年度	20年度	21年度	前年度比
①訪問	19,693	23,120	26,676	3,556
②除雪支援	1,629	1,632	1,651	19
③外出支援	113	252	234	-18
④家事や育児の支援	1,450	2,606	1,709	-897
⑤介護支援	421	228	242	14
⑥その他(見守り・薬とり など)	4,155	6,009	6,576	567
合計	27,461	33,847	37,088	3,241

## 4 要援助世帯の把握や記録(調査活動)

### 把握や記録の方法

(単位：地区)

	19年度	20年度	21年度	前年度比
①ふれあいカードなどで把握している	63	63	55	-8
②援助世帯のニーズ調査を実施している	39	38	38	0
③福祉マップを作成している	16	18	23	5
④住民の意識調査を実施している	6	9	12	3

日常生活支援も要援助世帯の増加に伴い対象世帯・活動数が毎年増加を続けています。また、調査活動では福祉マップへの取り組みが増えており、福まち活動を活性化させる手法として拡がりを見せています。

## 5 ふれあい・交流の場づくり(ふれあい交流活動)

(単位：地区)

	19年度	20年度	21年度	前年度比
①会食・配食会	59	61	63	2
②入浴会	38	33	35	2
③ミニサロン・ミニデイ	46	52	59	7
④異世代交流	55	52	51	-1
⑤子育て支援(サロン/主催・共催・協力)	66	71	72	1
⑥介護予防活動(すこやか倶楽部や転倒予防教室などの共催・支援)	38	36	40	4
⑦相談活動(相談室の開設・電話相談など)	37	39	38	-1
(0内は、相談活動を実施している地区のうち相談所の開設数が週1回以上の地区数)	(32)	(34)	(36)	(2)

ふれあい交流活動は一部の項目において減少しましたが、全体的に実施地区は増加傾向にあります。

特に近年は「ミニサロン・子育てサロン」を実施する地区の増加が目立っており、より小さなエリアを範囲とした住民相互の交流の場づくりとして「サロン」への取り組みが活発化しています。こうした動きは、単位町内会など小地域での活動を推進していく体制の整備にもつながっており、「福祉推進委員会」の設置を後押しする大きな要因にもなってくると思われます。

福まち活動開始から15年を数え、その活動は確実に広がり、定着しています。これからも福まち活動の充実強化を目指し、市・区社会福祉協議会では単位町内会圏域毎に福祉推進委員会の設置を支援し「顔の見えるより小さな圏域での支え合い活動」を推進していきたいと思えます。

## 区社協ココイチ！事業をご紹介

市内では10区社会福祉協議会が市民の窓口となって、地域福祉活動を推進しています。地域が違えば取り組みも様々。ここでは区社会福祉協議会の特色ある取り組みをご紹介します。

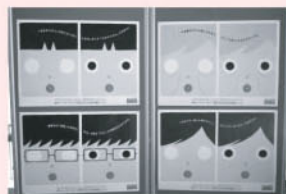
### 【地域での見守り活動を啓発】

#### 中央区社会福祉協議会の取り組み

今年度、社会福祉協議会では高齢者見守りサポーター養成事業をスタートさせるなど、地域住民による見守り活動を積極的に推進しているところですが、中央区社会福祉協議会では、こうした活動を地域に広げて行くために啓発用ポスターを作成しました。

【年を重ねたら『心配』される人より、『心配り』できる人がいいね。】【『おまわりさん』が近くにいないときは、ほぐが『みまわりさん』になるよ。】など計4種類のキャッチコピーがとても印象的なポスターに仕上がっています。

中央区社会福祉協議会は、若い世代からお年寄りまで、多くの方に見守り活動に参加していただくことを目指しています。



違った顔のポスターが4種類

### 【チャリティーフェスティバルを開催】

#### 清田区社会福祉協議会の取り組み

清田区社会福祉協議会では、楽しく、気軽に、そして身近に福祉を感じて欲しいという思いから「清田笑顔のチャリティーフェスティバル'10」を開催(9月23日)しました。

地域全体で盛り上げるために、清田区地域包括支援センターや介護予防センター、区内5地区の社会福祉協議会と民生委員児童委員協議会の協力のほか、民間企業にも協賛していただいた開催となりました。当日は平岡中のスクールバンドやクイズ大会などのイベントのほか、福祉活動パネル展、笑顔の絵・写真コンクールなど地域福祉活動の啓発も進められました。

今年度からの初めての取り組みでしたが、多くの区民に参加いただき盛況のうちに終了することができました。今回をきっかけにして福祉への関心が高まることが期待されます。



多くの区民で賑わったチャリティーフェスティバル

# 社協の扉「新人職員の奮闘から見る札幌市社協」

今年度の社協の業務も後半戦に入りました。今年4月には新たに3名の若き社協職員が採用され、10月1日から正職員として業務に汗を流しています。そんな彼、彼女たちの紹介と、新人職員から見た札幌市社協をご紹介します。



札幌市社会福祉協議会 地域ケア推進部  
自立支援課 相談係 渡部 唯 さん

成年後見（法人後見）事業や日常生活自立支援事業など、認知症や精神障がい、知的障がいのある方々の金銭管理や福祉サービス利用援助を行う個別支援業務を担当。



厚別区社会福祉協議会 米田 麻衣 さん  
区内のボランティア調整や厚別区共同募  
金会の運営などの個別支援や団体事務など  
幅広い業務を担当。



西区社会福祉協議会 渡部 敬 さん  
福祉のまち推進センター事業や福祉除雪、ボランティア調整など、地域福  
祉活動の中心的な業務を担当。

## 採用前の社協のイメージは？

- 渡部(唯) 採用前は社協の存在を知りませんでした。実際に携わって、福祉という言葉の概念すら自分の中に持っていなかったの、壁にぶつかることばかりですが、その分、とてもやりがいがあります。
- 米田 具体的にどのようなことをしているのか分からず固いイメージでしたが、想像以上に地域との距離が近いことに驚きました。
- 渡部(敬) 正直なところを言うと、社協のイメージは「地域福祉の推進」という言葉のみの漠然としたものでしたが、実際に携わってみると、コーディネーターとして地域住民の皆さんと関わりを持って仕事をやるやりがいのある仕事だと思いました。

## これまでの仕事の中で印象に残っていることは？

- 渡部(唯) 先輩職員に「私たちの仕事は利用者を管理することが目的ではなくて、その人の暮らしを支えていくもの。『就労できれば社会に適應している』という感覚があるかもしれないけれど、障がいを持った人にとっての暮らしやすさというのは、そういうことだけで決まるものじゃないよ」とアドバイスいただいたことです。
- 米田 ボランティア連絡会の研修会です。初めてのことで準備に戸惑うこともあり、また当日はどしゃぶりの雨という悪天候でしたが、無事に終えることができて「ほっ」としたことが印象に残っています。
- 渡部(敬) ボランティアの需給調整で、一人暮らしのお年寄りのお話し相手を見つけて活動まで結びつけた時に、依頼された方から「ありがとう」の一言をもらえたこと、また、地域での研修会などでも感謝の言葉をもらえたことが嬉しく、印象に残っています。

## 先輩職員から学んでいることは？

- 渡部(唯) 数字で結果を計れないので常に自分の仕事を自分でチェックするよう心がけたり、関係者と密に連携し自分の担当業務以外にも気を配ること、業務の外でも先輩職員との情報交換をすることが大切だということを学んでいます。
- 米田 仕事に対する姿勢や、地域との関わり方をはじめ一つ一つのことすべてが勉強になります。
- 渡部(敬) 先輩職員は、仕事に対して、自分なりの地域福祉のあり方に対する考え方をしっかりと持ち、職場の中でコミュニケーションを取りながら仕事に取り組んでいるので、職員としてどうあるべきか、また地域福祉の推進に必要な知識や技術を学んでいます。



## 市民に親しまれる社協にするにはどうしたらよいと思いますか？

渡部(唯) 日常生活自立支援事業は対象範囲が広くはありませんが、自分が行っている業務を少しでも多くの方たちに知っていただくことが、潜在的なニーズを発見することにつながり、それが「市民に親しまれる社協」につながると思います。

米田 自分の足で地域に出かけていき、市民の方たちと共に職員も汗を流すことが大切だと思います。  
渡部(敬) 住民の方の話や要望を聞き、それに応えていくことも大切ですが、それに加えて、こちらから何かを発信することで、住民の方へも自分たちが持っている考えが伝わり、社協に対してより理解が得られ、親しまれることにつながると思います。



## 仕事において自分の得意とするところは？

渡部(唯) 電話に出るのが早い・・・と思います。度胸はあります。

米田 得意と言えるかわかりませんが、市民の方とお話をするときは親身になって聞くことを心がけています。

渡部(敬) 事務所に来所されたお客様や電話で問い合わせをいただくお客様に対し、まずは話にしっかりと耳を傾けることです(得意と言っていいのか分かりませんが・・・)。



## 市民の皆さんへ「社協はこんな職場です」

渡部(唯) 市社協は人が多くにぎやか。楽しい職場です。

米田 厚別区社協は、笑顔あふれる素敵な職場です。職員の一人一人が、どうすれば地域の皆さんのより良い暮らしづくりのお手伝い出来るかを本気で考えています！

渡部(敬) 地域の住民同士の見守り安否確認活動等の見守り促進をはじめ「福祉でまちづくり」の実現を目指して、地域福祉の推進のために、活動に取り組んでいます。



## 最後に市民の皆さんへ今後の意気込みを一言

渡部(唯) 市民の皆さまにお役に立てるよう、日々努力していきます。

米田 札幌で暮らす市民の皆さんの暮らしがより良いものになる様、皆さんが笑顔で暮らせるよう、一生懸命頑張ります！どうぞよろしくお願いいたします。

渡部(敬) 少子高齢化を背景にした福祉課題に対して、そうした現状を少しでもなくしていくために、私も一職員として、市民の皆さんとともに頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします！

3名の新人職員はこれからも皆さんのお力になれるよう頑張っております！

## 「住民や地域から信頼される社協・職員」であるために

私たち社協職員は、地域福祉の推進という使命を心に留め、全員が共通認識を持って仕事に取り組まなければなりません。また、住民がそれぞれの地域で生活していく上で発生する様々な福祉課題の解決や、広く、まちづくり活動にも繋がる福祉活動の推進に向け、市内89カ所にある地区社協(福祉のまち推進センター)設置の意義と効果を高めていく必要があります。そして『住民にとってなくてはならない社協』を目指して、すべての職員が知恵と力を注いでいかなければならないと考えています。

本会では、職員が仕事に対する考え方や進め方について、共通理解を深めるために「社協職員必携」を作成し研鑽を積んでいます。職員が持つそれぞれの多様性を地域福祉の推進に転換していくために、私たちは共通の認識を持つと同時に、職員一人ひとりが福祉の分野だけでなく、自己啓発によって幅広い知識を身につけ、業務に取り組んでまいります。



研修の様子



札幌市社会福祉協議会

# 『札幌市障がい者講師等派遣事業』 障がいを考える講演会

体に障がいがあったり、心に疾病をもつ人たちが、皆さんの職場や学校、町内会などにお伺いし、自らの経験をもとに伝えます。障がい者自身の話は、障がいへの理解を深めるうえで説得力を持ち、新たな気づきを与えてくれることと思います。お誘い合せのうえ、ご参加ください。

**【日 時】** 平成22年11月24日(水)  
17:00~19:30(受付16:30~)

**【会 場】** 札幌市男女共同参画センター3階ホール  
(北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内)

**第1部** 公開座談会「私たち、障がいを語ります！」  
座長：メビウスの会代表 我妻 武氏

**第2部** 特別講演会「スポーツを通して伝えたいこと」  
講 師：バンクーバーパラリンピック  
クロスカントリースキー金メダリスト  
新田 佳浩氏  
(日立ソリューションズ スキー部『アウローラ』所属)



## プロフィール

3歳で事故により左前腕を切断。4歳からスキー、小学3年からクロスカントリーを始め。中学2年で全国大会出場。その後、長野パラリンピックに出場。2003年世界選手権ドイツ大会では金メダルを獲得。  
バンクーバーパラリンピックでは日本選手団主将を務め、クラシカル10km及びスプリント1kmで金メダルを獲得。2014年ソチパラリンピックを目指すとともに、障がい者スポーツの第一人者として講演活動にも積極的に取り組んでいる。

- 主 催／社会福祉法人札幌市社会福祉協議会
- 後 援／札幌市 北のユニバーサルデザイン協議会 (NUDA)
- 定 員／300名(先着順。定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 参 加 費／無 料(手話通訳有り)
- 申 込 方 法／電話により申し込みください。
- 申 込 ・ 問 合 先／札幌市ボランティア研修センター

## 災害ボランティアリーダー養成講座

～災害の時に備えて、みんなで考えよう～

- ▼内 容 「災害ボランティアリーダーの役割と高齢者・障がい者支援のあり方について」等
- ▼講 師／NPO法人ゆめ風基金(本部：大阪府) 理事 八幡 隆司 氏
- ▼日 時／平成22年11月25日(木) 10:00~16:00
- ▼会 場／STV北2条ビル 6階会議室 ▼定 員／100名(先着順) ▼受講料 無料

### ▼研修申込

電話かファックスで受付(ファックスの場合は講座名、住所、氏名、年齢、職業、電話番号・ファックス番号を記入)

▼申込・詳細／札幌市ボランティア研修センター TEL011-223-6005/FAX011-261-8881

## 協力求む！収集ボランティア活動 VOL.2～

札幌市ボランティアセンターでは、古切手・リングプル・ペットボトルのキャップ・えんぴつなどを収集しています。  
やさしい街179号にて、収集ボランティアの協力を呼びかけたところ、少しずつ市民や団体から、寄贈をいただけるようになりました。  
札幌市民の力による収集ボランティアで、国際・医療支援など様々な支援を実現しませんか？  
こちらまで、お持ちいただければ、関係支援団体に届けます。ご協力をお願いいたします。

### お寄せいただいた協力団体と収集物について(8/1~9/30)

(団体)	収集物
8/9 札幌新川二条郵便局	古切手・カード・はがき
8/26 札幌シニアライオンズクラブ	古切手・リングプル
8/27 NTTファシリティーズ	古切手
9/21 札幌南一条西郵便局	古切手
9/29 清田まちづくりセンター	インクカートリッジ
9/30 札幌新琴似十一郵便局	古切手
(個人)	収集物
8/20 薩摩 昌次	切手・リングプル
8/24 今田 雅子	切手・リングプル
8/26 講神 節子	ペットボトルのキャップ
9/1 草間 初江	切手・リングプル・プリペイドカード
9/3 伊深 正英	未使用/使用済みハガキ
9/6 大坪 江里子	えんぴつ
9/10 草間 初江	切手・ペットボトルキャップ
9/15 内藤 晶子	切手・ペットボトルキャップ
9/21 稲垣 京子	ペットボトルキャップ

現在の収集状況(9月末現在)

リングプル	キャップ	切手	えんぴつ
0.8kg	800個	3.2kg	131本

## ふくしの出前講座をご利用しませんか？

### ふだんのくらしのしあわせ講座

札幌市ボランティア研修センターでは、障がいのある方への接し方や福祉に関することを学びたいという企業や学校・町内会や福祉のまち推進センター等に出向いて講座を行い、講師派遣のお手伝いをいたします。

※講師謝礼・資料代を当センターが負担いたします。

下記の内容以外でも、ご相談承ります。

内 容
これからのボランティア活動
車いす・高齢者擬似体験講座
アイマスク・点字体験講座
手話の基本講座
高齢者の権利擁護～金銭管理など
地域見守りサポーター養成講座
コミュニケーション技術を学ぶ
ふれあい・いきいきサロン
ときめき時代を過ごすために～新しいシニアライフ
円山動物園 前園長が語る ～動物のふくし～

※遅くても、開催1ヶ月以上までの申込み。

詳細／札幌市ボランティアセンター

無料出張

# 赤い羽根共同募金

## 平成22年度札幌市の街頭募金



街頭募金では、市内の多くの募金ボランティアさんの参加をいただき6百万円を超える善意の募金が集まりました。寄付をする人も、寄付を募る人も募金ボランティアです。ご協力ありがとうございます。

札幌市街頭募金実績（10月1日～5日）

**募金額 6,208,704 円**



## 共同募金運動功績者・団体の表彰

長年にわたり共同募金運動にご協力をいただいた方々や団体、学校を表彰しました。



【厚生労働大臣表彰】

共同募金運動奉仕功労者 1名 ・ 笹嶋 昭雄 様



【中央共同募金会会長表彰】

共同募金運動奉仕功労者 1名 ・ 湯浅 義昭 様



【北海道共同募金会会長表彰】

＜永年勤続奉仕者 3名＞

・ 森尾 裕子 様 ・ 真鍋 義雄 様 ・ 堤 繁雄 様

＜優秀地区・団体 13団体＞

・ 札幌市北区共同募金会篠路分会 様 ・ 豊平区町内会連合会 様  
・ 美園地区町内会連合会 様 ・ 福住地区町内会連合会 様  
・ 札幌市清田区民生委員児童委員協議会 様  
・ 川沿第三町内会 様 ・ 発寒天狗町内会 様 ・ 発寒春日町内会 様  
・ 富丘高台地自治会 様 ・ 星置地区山口東町内会 様

・ 星置地区オリオン町内会 様 ・ 星置地区新星町内会 様  
・ 北海道立子ども総合医療療育センターボランティア会 様

＜高額寄付者 2名＞

・ 森下 藤雄 様 外 1名

＜優秀学校 5校＞

・ 札幌市立青葉中学校 様 ・ 札幌市立新陵中学校 様  
・ 北海道札幌拓北高等学校 様 ・ 北海道札幌篠路高等学校 様  
・ 札幌山の手高等学校ボランティア部 様

\* 札幌市共同募金会 電話 (011)614-3532 \*

## シリーズ社協を知る 第4回

「社協がわかる!」「社協がみえる!」を台言葉に、今年度は「シリーズ社協を知る」をお送りしています。第4回目は社協と協働する人々をご紹介します。

社会福祉協議会は社会福祉法において「その区域内における社会福祉を目的とする事業を営業者及び社会福祉に関する活動を行うものが参加し・・・」とあるように、組織自体が、様々な機関や団体などが参加することによって構成されています。しかし、こうした参加は単に構成員としてではなく、地域福祉を推進する上で多くの場面で、対等な立場に立って共通の課題に取り組んでいく＝「協働」していくためのパートナーでもあります。特に、町内会や民生委員・児童委員、ボランティア団体など、地域に根付いた組織や地域住民と協働する場面が多く、たとえば、最近では高齢者の孤立の問題などが大きくクローズアップされていますが、高齢者の生活

圏域での見守り活動は、こうした方々と問題を共有し、仕組みを考え、お互いができることを確認していきながら、課題解決のために協働することとなります。

また、問題が専門的で複雑化する場合には、包括支援センターや介護予防センター、社会福祉施設などの専門機関と課題を共有し、

新たな協働へと発展させていくこととなります。このように、ひとつの問題を一つの組織で解決するのではなく、互いに共通の課題を抱えるところと協働することが効果的であり、それが地域福祉に関係するものにあつては、社会福祉協議会は積極的に協働を呼び掛けていく役割が求められているのです。

また、行政サービスを提供する市町村には、少子高齢化等、福祉問題が多岐にわたる近年にあつては、広範な期待が寄せられています。しかし、すべてにおいて期待に応えるには限界もあり、民間との「公私協働」による取り組みが、広がってきています。社会福祉協議会にあつては、地域福祉を計画的に推進するために、行政との協働を常に意識し計画を策定し、あるいは、行政では手の届かない問題や課題について、民間性を活用して、それぞれの役割を見いだしながら、地域福祉の推進を図っています。

社会福祉協議会は課題に応じて協働する相手を見つけ、地域住民が安心して暮らし続けることのできる地域福祉を目指しています。



高齢者の孤立を防ぐ見守り活動  
地域との協働があつて実現します

### シリーズ社協を知る

第1回 社協の歴史

第2回 社協の事業

第3回 社協と共同募金

**第4回 社協と協働する人々**

第5回 社協で働く人々

第6回 これからの社協

白石区社協事務所移転のお知らせ（11月8日より）

新住所 〒003-8612

札幌市白石区本郷通3丁目北1-1 白石区民センター2階

（旧住所 白石区本郷通3丁目北3-1 水道局白石料金センター1階）

電話・FAXに変更はありません

北区社協事務所移転のお知らせ（11月8日より）

移転内容 北区役所2階から北区役所1階に移転します

電話・FAXに変更はありません

## ～目指せ5,000人 安心のある福祉のまちづくりを目指して～

### 地域見守りサポーター養成事業を進めています

日常生活の中で「なにげなく気にかける」程度の見守りにより、あるいは「向こう三軒両隣」のちょっとした意識で、一人暮らしの高齢者の安否確認や虐待や認知症などの異変に気づく、さらには、支援を行うために関係機関に連絡をいただける、そうした方々を「地域見守りサポーター」として養成し、全市に広げています。

地域、学校、企業などで訪問研修を希望される場合は札幌市ボランティア研修センターまでお申し込みください。

### 訪問研修 について

- 希望に応じて、地域、学校、企業等への訪問研修を行います
  - 開催時間は90分程度
  - 研修講師は社会福祉協議会職員が努めます
  - 訪問研修は20名から100名くらいをめどに対応いたします
  - 費用は無料です。研修会場をご用意ください
  - その他、開催日時などについてもご遠慮なくご相談ください
- 申込 札幌市ボランティア研修センターまで



### 札幌市社会福祉協議会の連絡先

〒060-0042  
札幌市中央区大通西19丁目1番1号 札幌市社会福祉総合センター内

代表	011-614-3345
総務課	011-614-3343
札幌市社会福祉総合センター	011-614-2948
地域福祉課地域福祉係	011-614-3344
生活福祉係	011-614-0169
FAX (上記共通)	011-614-1109
情報センター資料室	011-614-2001
FAX	011-615-2666
自立支援課地域ケア係	011-612-6110
高齢者・障がい者生活あんしん 支援センター (相談係)	011-632-7355
FAX (上記共通)	011-613-5486

〒060-0001  
札幌市中央区北1条西9丁目 リンケージプラザ2F  
札幌市ボランティア研修センター 011-223-6005  
札幌市ボランティアセンター 011-219-1737  
FAX (上記共通) 011-261-8881

札幌市社会福祉総合センター・札幌市ボランティア研修センターでは会議室、研修室の貸出を行っています。ボランティア活動や市民活動の打ち合わせや研修の場としてご活用ください。(受付時間：月曜日から金曜日 8:45～17:15)。

身近な地域福祉情報は、お近くの区の社会福祉協議会の  
広報誌・ホームページをご覧ください。  
ホームページアドレス <http://www.sapporo-shakyo.or.jp/>  
**札幌市社会福祉協議会広報誌「やさしい街」**  
通巻180号 2010年11月1日発行  
発行/社会福祉法人札幌市社会福祉協議会

『力』を合わせると、未来が明るいワン



**協信電気工業株式会社**  
〒060-0013 札幌市中央区北13条西15丁目6番22号  
TEL (011) 736-8311 FAX (011) 736-8318

### ご寄付ありがとうございました

(札幌市社会福祉協議会愛情銀行)

#### 8月受理分

- ★NPO法人全音連指導者協会  
北海道支部 様  
62,500円



NPO法人全音連指導者協会  
北海道支部 様

#### 9月受理分

- ★札幌市保養センター駒岡  
陶芸教室「陶寿房」 様  
56,150円
- ★碓光 直 様 100,000円
- ★松井 武司カラオケ教室 様  
14,100円



札幌市保養センター  
駒岡陶芸教室「陶寿房」 様

- ★宗教法人松緑神道大和山 様  
(チャリティバザー益金から)  
200,000円



(株)ツルハ 様  
ユニチャーム(株) 様

#### 10月受理分

- ★さっぽろ旭山うた祭りの会 様  
100,000円
- ★(株)ツルハ 様  
ユニチャーム(株) 様  
車いす 10台
- ★札幌生命保険協会 様  
軽自動車 1台



札幌生命保険協会 様

### 情報センター資料室より 今回のオススメ

#### 『マンガでできる介護職員研修』

介護ビジョン編集部企画・製作/どい まき作画  
日本医療企画

利用者へのサービス、上司や同僚とのコミュニケーション、感染症対策などのリスクマネジメント・・・

介護現場で働く人たちが直面する悩みや迷いについて、職員同士で考え、みんなで解決するためには、どうすればよいかを学べる本です。

